

令和4年度 文化財担当者研修課程一覧(予定)

| 区分   | 専 門 研 修   |   |  |                                     |   |   |  |   |  |  |   |   |  |   |
|------|---|---|--|-------------------------------------|---|---|--|---|--|--|---|---|--|---|
| 課程   | 建造物保存活用計画策定課程   | 文化財デジタルアーカイブ課程  | 遺跡調査技術課程   | 層序学・堆積学・土壌学基礎課程                     | 保存科学(材質・構造)課程   | 保存科学(遺構・石造文化財)課程  | 中・近世瓦調査課程  | 文化財写真課程   | 報告書編集基礎課程                                      | 報告書作成デジタル課程  | 史跡等保存活用計画策定課程   | 文化的景観調査計画課程   | データベース活用課程   | 文化財三次元計測入門課程  |
| 副題   | 文化財建造物の保存活用計画策定に必要な基礎知識   | 文化財情報のデジタル化・公開活用・データベース   | 現場で実践できる実戦的調査基礎技術  | 層序学・堆積学・土壌学の入門編                     | 出土遺物の非破壊調査法の理論と実践   | 遺跡の保存処理から保存環境調査のデータ取得・解析方法まで  | 中・近世の瓦研究の概要と最新成果   | 文化財分野の写真に必要な基礎知識とデジタル写真を中心とした実習   | 報告書を刊行するための基礎知識を学ぶ研修                           | 報告書作成でデジタル技術を活用する研修  | 策定演習を通じた事務局案の作成   | 文化的景観保護の基礎課程  | 埋蔵文化財の活用に向けたデータベース構築方法とその活用基礎技術(出張型課程)   | フォトグラメトリを用いた文化財の記録の入門編(開講地域への講師出張型課程)   |
| 実施期日 | 7月4日～<br>7月8日   | 7月25日～<br>7月29日   | 9月12日～<br>9月16日  | 9月26日～<br>9月30日                     | 10月11日～<br>10月14日   | 10月17日～<br>10月21日   | 11月9日～<br>11月11日   | 11月21日～<br>12月2日  | 12月5日～<br>12月9日                                | 12月12日～<br>12月16日  | 1月17日～<br>1月23日   | 1月30日～<br>2月3日  | 10月31日～<br>11月2日   | 応相談<br>2日間  |
| 定員   | 10名   | 10名   | 10名  | 10名                                 | 8名  | 10名   | 10名  | 10名   | 10名  | 10名  | 10名   | 10名   | 10名  | 応相談   |
| 対象   | 地域の中核となる地方公共団体の文化財担当職員若しくはこれに準ずる者   | 〃   | 〃  | 〃                                   | 〃   | 〃   | 〃  | 〃   | 〃  | 〃  | 〃   | 〃   | 〃  | 〃   |
| 内容   | 文化財建造物の保存活用計画策定に関わる自治体担当者を対象に、法制度、保存管理、環境保全、活用等について、講義、実地研修および演習を通じて、計画策定に必要な知識の習得を目指す。 | デジタル技術を用いて、調査記録類(画像含む)および報告書のデジタル化や文化財コンテンツの公開活用を行うための必要な知識やスキルを習得するための研修。コンテンツのデータベース公開、オープンデータ化、著作権などの知的財産権も扱う。 | 知っていれば発掘調査現場や調査成果の活用に関与し、実践的な知識と技術の習得や、調査に求められる多分野協業の視点について実習を交えながら学ぶ。 | 発掘調査に必要な層序学・堆積学・土壌学の基礎的知識の習得を目指す研修。 | 無機質遺物の保存処理の際に実施する、主に非破壊的手法による材質・構造調査についての基礎的な研修。主にX線透過撮影による構造調査や蛍光X線分析による材質調査についての講義・実習を行う。 | 本課程は土壌や石で構成される遺構を対象として、石の強化・撥水処理方法の実習をおこなうとともに、環境制御による遺構の保存法を習得することを目的として、遺構の劣化要因および劣化の進行に対して環境がおよぼす影響について、環境調査の実習などを交えて学ぶ。 | 全国各地で実施されている中・近世の瓦研究の現状と最新成果を提供する。講義では実物をみながらの講義を盛り込み、受講者の理解度を高めるよう努める。現代の瓦工房を見学し瓦の製作工程を理解してもらう。 | 文化財の記録保存と活用において中心的な役割を持つ写真記録について、必要不可欠な写真技術の基礎知識と、デジタル写真を中心とした実習による実技を習得する研修。 | 文化財調査記録に必要な報告書出版について、記述内容の意義や記述記録の基礎知識を習得する研修。 | 報告書出版に必要な編集知識や図版制作について、デジタル技術を活用しながら出版物作成をおこなう実践的な技術を習得する研修。 | 史跡の保存活用計画書の策定演習を通じて、計画書の事務局案作成を行う。ただし、目次建てのうち、「現状と課題」までは研修の事前課題として提出することを前提とする。 | 文化的景観の保護にこれから取り組む担当者を対象に、文化的景観の概念、保護制度、調査手法及び保存計画立案等についての基礎知識を習得することを目的とする研修。 | 発掘調査から得られる様々な情報について、とくに表層地質データ、遺構データ、自然科学分析データの活用による景観復原や地域魅力発信コンテンツ、さらには地域防災・減災への活用について学ぶ。<br><br>(開催場所:鳥取県を予定) | 文化財の三次元計測の基礎と実技を習得する。<br><br>具体的には主にフォトグラメトリを用いた三次元計測方法を知り、発掘調査現場や出土遺物の記録に応用できるようにする。<br><br>また開講地域が抱える三次元計測関係の課題があれば、これについて解決に向けた方法を検討する。(12月～3月の間で開催予定) |
| 申込締切 | 令和4年  | 令和4年  | 令和4年   | 令和4年                                | 令和4年  | 令和4年  | 令和4年   | 令和4年  | 令和4年   | 令和4年   | 令和4年  | 令和4年  | 令和4年   |   |
| 予定日  | 5月20日(金)  | 6月10日(金)  | 7月28日(木)   | 8月12日(金)                            | 8月26日(金)  | 9月2日(金)   | 9月22日(木)   | 10月7日(金)  | 10月21日(金)                                      | 10月21日(金)  | 10月28日(金)   | 12月14日(水)   | 9月16日(金)   |   |

※1 各研修はリニューアルが図られております。  
 ※2 募集は各都道府県及び政令指定都市教育委員会を通じて行われます。  
 ※3 研修参加決定通知は研修開始日の約1ヶ月前に通知の予定です。